

## 竹内慶夫先生のご逝去を悼む

村上 隆 (地球惑星科学専攻 教授)

本学名誉教授、竹内慶夫先生(鉱物学専攻\*)はご療養中のところ2009年7月5日にご逝去されました。享年85歳でした。先生は東京帝国大学理学部鉱物学科をご卒業され、東京大学で、助手、講師、助教授、教授を務められました。昭和59年(1984年)に東京大学を停年退官された後も、日本大学で教鞭を執られていました。

先生の専門分野は結晶学、鉱物学で、この分野において多くの先駆的な業績をあげられました。硫酸鉱物やケイ酸塩鉱物の構造解析のみならず、構造決定法の開発や鉱物の多形についての理論の発展の基礎を作られました。これらの成果をふまえて提出された「トロポケミカル双晶」という概念と無機同族列形成の結晶化学的な解明は統一的な結晶構造の原理

としての金字塔といえます。先生は平成9年(1997年)の「TROPOCHEMICAL CELL-TWINNING」という本にこの成果をまとめられています。

先生は数多くの院生、学生を育てられるとともに、学会活動にも熱心で、日本結晶学会会長、日本鉱物学会会長を歴任されました。いっぽう、国際的にも国際回折データセンター(米国)と40年近く協力活動を行われ、学術、とくに結晶学、鉱物学の分野の発展に大きな貢献をされてきました。その貢献に対し、平成5年(1993年)に国際回折データセンターの特別功労者賞、平成13年(2001年)に勲三等瑞宝賞を授与されました。

私事ではございますが、十数年前、私が本学に教員として戻って来たとき、先生はわざわざ私のところに出向かれて、



■ 故・竹内慶夫先生

その喜びを伝えられました。また、2、3年前、先生が「セレンディピティ」の語源となったおとぎ話を翻訳、出版されたとき、先生の奥様も一緒に食事をしました。先生は終始ご機嫌でした。これらは私のよい思い出になっています。竹内慶夫先生のご冥福を心からお祈り申し上げます。

\* 現在は地球惑星科学専攻に改組。

## 東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
<b>2009年6月29日付学位授与者(1名)</b>			
課程	生化	佐々木桃子	概日時計発振系における哺乳類 BMAL2 による転写制御
<b>2009年6月30日付学位授与者(1名)</b>			
課程	生科	深澤 太郎	脊椎動物の器官再生能を規定する免疫応答に関する研究(※)
<b>2009年7月17日付学位授与者(1名)</b>			
課程	生科	高田 仁実	アフリカツメガエル胚初期発生における RNA 結合タンパク質 Mex3b の転写後制御の解析(※)
<b>2009年7月31日付学位授与者(1名)</b>			
課程	地惑	関 克隆	非正常衝撃波に関する観測的研究(※)

## 人事異動報告

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2009.7.16	物理	助教	遠藤 基	採用	
2009.8.15	地惑	准教授	岩森 光	辞職	東京工業大学大学院理工学研究科教授へ
2009.9.1	物理	技術職員	八幡 和志	採用	

## 第 16 回東京大学理学部公開講演会のお知らせ

広報委員会

今年はガリレオが望遠鏡を使ってから 400 年、ラボアジエが化学原論を出版してから 220 年、そしてダーウィンが生まれてから 200 年になる。そこで「ガリレオ・ダーウィン・ラボアジエから現代の理学へ」を今回のテーマとした。彼らの成果を基礎として近代科学は発展してきた。それらを受け継ぐ現代の望遠鏡や顕微鏡によって明らかになった理学の最前線を紹介する。

「南米アタカマ砂漠から探る見えない銀河の誕生」	河野孝太郎 (天文学教育研究センター 教授)
「朝の光と朝ごはん：体内時計の時刻リセット」	深田 吉孝 (生物化学専攻 教授)
「百聞は一見に如かず –顕微鏡で見る有機化学–」	中村 栄一 (化学専攻 教授)

**日 時** 2009 年 11 月 8 日 (日) 14:00 ~ 16:30 (13:00 開場)  
終了後、講演者との歓談の時間を設けます。

**会 場** 東京大学本郷キャンパス 安田講堂  
(東京都文京区本郷 7-3-1)

**入 場** 無料。事前申込不要。どなたでもご参加いただけます。

**定 員** 700 名 (当日先着順)

**中 継** インターネット配信を予定。

**主催・問い合わせ先** 東京大学大学院理学系研究科・理学部広報室

TEL : 03-5841-7585 E-mail : kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp

URL : <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/PL16>

## あとがき

この 4 月から広報誌編集委員をおおせつかりました化学専攻の島田と申します。牧島委員長をはじめとして、委員の方々が記事の提案や原稿の吟味をととも熱心にされているのに感銘を受けました。

本号では、理学の宝物コーナーで、長年疑問に思っておりました化学本館の「重力基準点」について取り上げさせて

いただきました。大久保先生の記事にありますように、予想どおり由緒のあるものでした。化学専攻の田隅名誉教授にも情報をいただき、メートル原器が一時理学部に保管されていたことなど、興味深い事実を教えていただきました。ご協力いただいた方々にこの場をおかりして感謝申し上げます。

表紙に「重力基準点」と一緒に写っているのが広報誌担当の加藤さんです。表紙レイアウト・段組も変わり、毎号改善が加えられています。最新の研究情報の編集にも努力が払われています。歴史ある「理学部ニュース」の発展を祈りつつ、微力ながら協力させていただきます。

島田 敏宏 (化学専攻 准教授)

第 41 巻 3 号

発行日：2009 年 9 月 20 日

発 行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒 113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

編 集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会 (e-mail : [rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp))

牧島 一夫 (物理学専攻) [maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp)

横山 央明 (地球惑星科学専攻) [yokoyama.t@eps.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:yokoyama.t@eps.s.u-tokyo.ac.jp)

野崎 久義 (生物科学専攻) [nozaki@biol.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:nozaki@biol.s.u-tokyo.ac.jp)

島田 敏宏 (化学専攻) [shimada@chem.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:shimada@chem.s.u-tokyo.ac.jp)

斉藤 直樹 (庶務係) [nsaito@adm.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:nsaito@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

加藤 千恵 (庶務係) [c-kato@adm.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:c-kato@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

広報・科学コミュニケーション：

横山 広美 [yokoyama@sp.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:yokoyama@sp.s.u-tokyo.ac.jp)

HP 担当：

柴田 有 (情報システムチーム) [yuu@adm.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:yuu@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

HP & ページデザイン：

大島 智 (情報システムチーム) [satoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:satoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

印刷・・・三鈴印刷株式会社